

白川町全域（白川地区・白川北地区・佐見地区・黒川地区・蘇原地区）

令和5年度

【地域の概要】

- 白川町は、岐阜県の中南部にある加茂郡の東部に位置する人口7千人余りの町で、町全体の面積の約88%が山林である。また、河川流域により佐見地区、白川地区、白川北地区、黒川地区、蘇原地区の5地区に分けられ、町全体の農地は約950haあり、現在はそのうちの約2割が担い手に集積されている。
- 本地区の農地は、飛騨川にそそぐ佐見川、白川、黒川、赤川の流域に継続的に広がっている典型的な中山間地域である。これまでに各地域で農業基盤整備を積極的に進め、農業の生産性の向上を図り、基幹作物の水稻・お茶・夏秋トマトのほか、養豚・養鶏に取り組んでいる。

①取組開始前の状況や課題

状況

○これまでは、新規就農者や農事組合法人等の農業経営体が農地を守る担い手として、「人・農地プラン」を作成し、地域の農地を守っていくこと推進してきたが、農業者の高齢化や後継者不足により、「人・農地プラン」だけでは地域の農地を維持していくことが難しいため、誰が耕作していくか、将来の農地利用の姿を明確化した「地域計画と目標地図」を作成し、幅広い担い手の確保や農地の集積・集約化など農地の最適化を進めていかなければならない。

今ある農地を次の世代に引き継いでいくために、「いつ」、「誰が」、「どの農地を耕作するか」等について地域で話し合いを行い、話し合いの結果から「地域計画・目標地図」を令和7年3月末までに作成する。

②取組内容

「地域計画」戦略会議

第1回（令和6年2月27日）
第2回（令和6年3月28日）

○2月、3月の農業委員会総会後、農業委員、推進委員により地域計画戦略会議を実施。

地域計画の作成、地域での話し合いを進めるにあたり、地域における話し合いの中心メンバーの選定、話し合いの単位について意見を集約した。

③今後の展開と方向性

今後の展開

○スケジュール

R6.6 営農組合長会議で「地域計画」作成に向けて話し合いを行う事を周知。

R6.7～R6.10 各地域で10年後の農地について話し合いを実施。農業委員・推進委員も話し合いに参加し、参加者から意見を出してもらうように促すことや、付箋や地図への書き込み等を実施。

R6.8～R7.1 地域計画案と目標地図案の作成を行う。タブレットも活用し、地図の色塗り等を実施。

R7.2 営農組合長へ地域計画案と目標地図案の報告。

R7.3 県へ地域計画と目標地図の完成を報告。